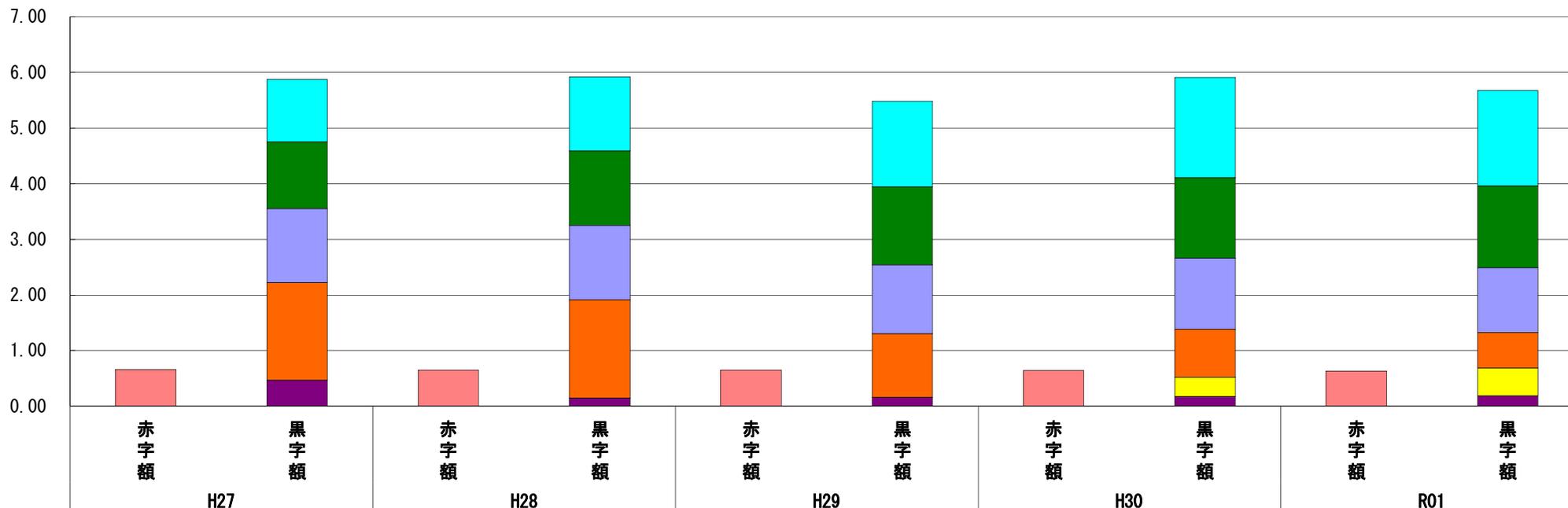


(8) 連結実質赤字比率に係る赤字・黒字の構成分析（都道府県）

令和元年度

愛媛県

標準財政規模比（％）



標準財政規模比（％）

年度	H27	H28	H29	H30	R01
会計					
県有林経営事業	▲ 0.66	▲ 0.65	▲ 0.65	▲ 0.64	▲ 0.63
電気事業会計	1.12	1.33	1.54	1.80	1.71
工業用水道事業会計	1.20	1.34	1.40	1.45	1.47
一般会計	1.33	1.34	1.24	1.27	1.17
病院事業会計	1.75	1.76	1.14	0.87	0.63
国民健康保険事業	-	-	-	0.34	0.50
港湾施設整備事業特別会計	0.47	0.15	0.16	0.18	0.19
自動車集中管理（重複会計）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
その他会計（赤字）	-	-	-	-	-
その他会計（黒字）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

分析欄

県有林経営事業特別会計は、木材価格の低迷により採算性が低下し赤字が続いている。現在、平成11年度に策定した経営改善計画を平成26年度に見直し、新たな改善策等を盛り込んだ変更計画に基づいて財政の健全化等に取り組んでいるところである。

一方、病院事業会計は、赤字決算の続いていた県立三島病院を平成21年度末をもって民間移譲したことや平成22年度からの7対1看護体制整備など第3次財政健全化計画に基づく各種施策に取り組んだ結果、現金収支が改善し、その他の会計とともに健全な財政状況となっているが、令和元年度は2月以降、新型コロナウイルスの影響で患者数が大幅に減少し収支が悪化したことにより2年連続で経常赤字を計上したことから、資金剰余額が減少となった。